

An Evening of Chamber Music

第9回 室内コンサート

2010.6.16 (水) 18時30分(開場18時)

Wed 16 June 2010, 6:30 pm (Doors open at 6 pm)

東京大学教養学部 駒場コミュニケーションプラザ
北館2階 音楽実習室

Music Practice Room, Komaba Communication Plaza

チェロ: セルゲイ・アントノフ ピアノ: イリヤ・カザンツェフ
Cello: Sergey Antonov Сергей Антонов Piano: Ilya Kazantsev Илья Казанцев

Program

S・ラフマニノフ Sergei Rachmaninov (1873-1943) Сергей В. Рахманинов
チェロ・ソナタ ト短調 作品 19
Cello Sonata in G minor, Op. 19
Соната для виолончели и фортепиано, соль минор, соч. 19

休憩 Intermission

F・ショパン (M・ジャンドロン編曲) Frédéric Chopin (1810-1849) (arrangement de M. Gendron)
序奏と華麗なるポロネーズ 八長調 作品 3
Introduction et Polonaise Brillante en ut majeur, Op. 3

P・チャイコフスキー Peter Tchaikovsky (1840-1893) Петр И. Чайковский
カプリッチョ風小品 口短調 作品 62
Pezzo capriccioso in B minor, Op. 62
Pezzo capriccioso для виолончели, си минор, соч. 62

S・ラフマニノフ S. Rachmaninov С. В. Рахманинов
ヴォカリーズ ホ短調 作品 34-14
Vocalise in E minor, Op. 34, No. 14
Вокализ, ми минор, соч. 34, № 14

K・ダヴィドフ Karl Davydov (1838-1889) Карл Ю. Давыдов
泉にて 二長調 作品 20-2
Am Springbrunnen in D-Dur, Op. 20, Nr. 2
У фонтана, Ре мажор, соч. 20, № 2

P・チャイコフスキー P. Tchaikovsky П. И. Чайковский
夜想曲 嬰ハ短調 作品 19-4
Nocturne in C sharp minor from "6 Pieces", Op. 19, No. 4
Ноктюрн, до-диез минор, соч. 19, № 4
メロディ (「懐かしい土地の思い出」より) 変ホ長調 作品 42-3
Mélodie in E flat major from "Souvenir d'un lieu cher", Op. 42, No. 3
«Мелодия» из «Воспоминания о дорогом месте», Ми-бемоль мажор, соч. 42, № 3

D・ポッパー David Popper (1843-1913)
妖精の踊り 二長調 作品 39
Elfentanz in D-Dur, Op. 39

■東京大学の学生・教職員限定 ■入場無料 定員 120名 全席自由 ■事前に予約が必要です。受付開始5月11日(火)
■駒場博物館の窓口で学生証・教職員証を提示して、入場券をお受け取りください。

This concert is exclusive to students and staff of the University of Tokyo. Admission free. 120 seats available. Reservation is required.
Applications accepted after May 11th. Students and faculty may obtain tickets by showing their university ID at the Komaba Museum reception desk.

主催: 東京大学教養学部ピアノ委員会 Organized by the Piano Committee, College of Arts and Sciences, The University of Tokyo.

演奏者プロフィール



Sergey Antonov

セルゲイ・アントノフ (チェロ)

1983年、モスクワにてチェリストの両親の元に生まれる。

モスクワ中央音楽学校を卒業ののち、

モスクワ音楽院を2006年に卒業。

中央音楽学校ではM・ジュラヴリョーフ、

モスクワ音楽院ではN・シャホフスカヤに師事。

M・ロストロポーヴィチ財団奨学金を獲得。

ロストロポーヴィチより「輝かしいチェリスト」と評された。

2007年、第13回チャイコフスキー国際コンクールの

チェロ部門優勝。

2008年、ロシア公演芸術協会より金メダルを授与。

同年、初来日。

「優美で流麗な演奏、重厚な音色に加えて、

美しく澄んだ高音域も聴かせ、聴衆を魅了した。」

と好評を得た。

2009年サントリーホール・ガラ・コンサート「響」に出演。

2010年1月、新日本フィル定期演奏会に出演。

マルティヌーのチェロ協奏曲第1番を演奏して話題となった。

現在はボストンに拠点に、主にロシア、ヨーロッパ、

アメリカで活動。

気鋭の新世代ソリストとして高い評価を得ている。

Ilya Kazantsev

イリヤ・カザンツェフ (ピアノ)

ロシア出身。7歳より音楽教育を受ける。

渡米後、マネス音楽大学で研鑽を積む。

1998年ルビンシュタイン国際コンクール優勝、

2000年ショパン国際ピアノコンクール入賞。

現代音楽の新作初演を数多く手がけ、献呈も受けている。

12音技法の楽曲演奏は、P・ブレーズより「思慮深い演奏」と評された。

ロシアとアメリカを中心に、ヨーロッパの主要都市でも演奏活動を展開。

2008年のニューヨークでのソロサイタルは、高い芸術性が地元紙に賞賛された。

オーケストラとの共演も多い。ニューヨーク在住。



■ 寄付のお願い

学生以外の方には、当日会場にてご寄付を頂戴できましたら幸いです（一口1,000円、これ以上でも以下でも歓迎いたします）。どうぞご協力をお願いいたします。

問い合わせ先 | 東京大学教養学部ピアノ委員会 tel. 03-5454-6139 (駒場博物館)